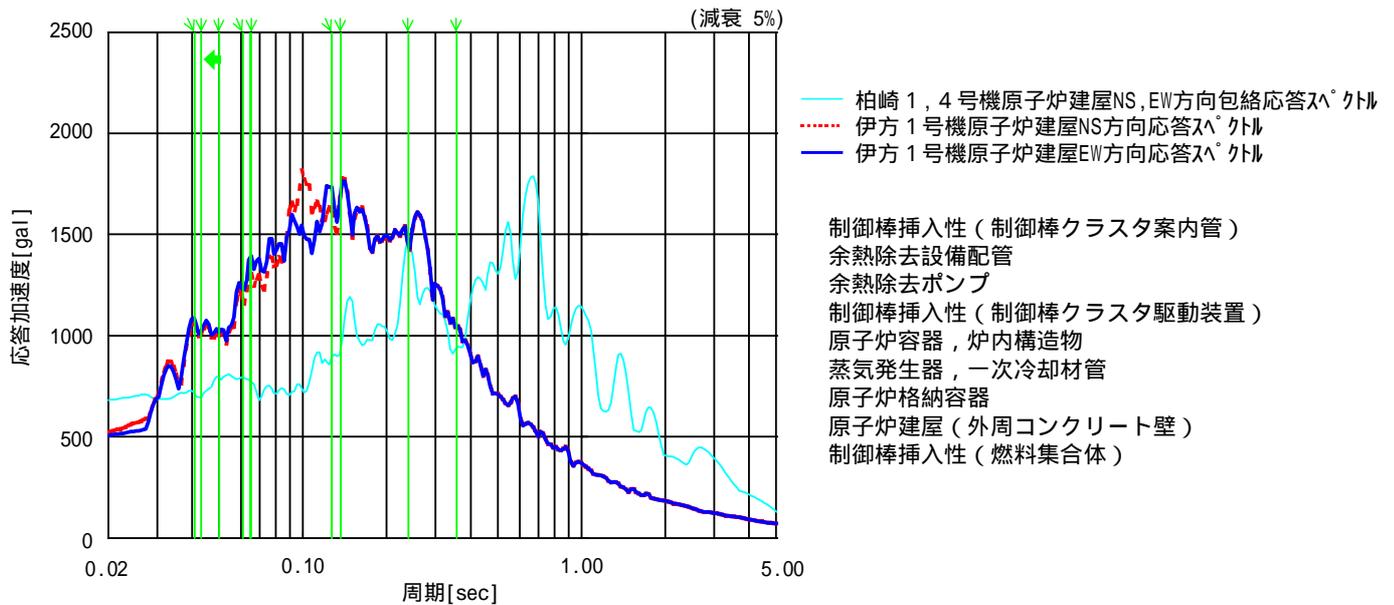


「柏崎刈羽原子力発電所で観測されたデータを基に行う 伊方発電所における概略影響検討結果報告書」の概要

1 検討内容

柏崎刈羽原子力発電所で観測された原子炉建屋基礎版上の床応答スペクトルと伊方発電所の基準地震動 S_2 による原子炉建屋基礎版上の床応答スペクトルを比較することによって、伊方発電所主要施設の機能維持への影響を検討しました。



柏崎刈羽原子力発電所の床応答スペクトルと伊方発電所の床応答スペクトルの比較図
[伊方発電所第1号機の例]

2 検討結果

平成19年新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所で観測された地震動によっても、伊方発電所各号機の安全上重要な機能を有する主要な施設の安全機能は維持されるものと考えられます。

概略影響検討結果 [伊方発電所第1号機の例]

対象施設	スペクトル比 *1	施設余裕 *2	判定
原子炉容器	1 以下	-	
蒸気発生器	1 以下	-	
炉内構造物	1 以下	-	
一次冷却材管	1 以下	-	
余熱除去ポンプ	1.58	10 以上	
余熱除去設備配管	1 以下	-	
原子炉格納容器	1 以下	-	
原子炉建屋	1.01	2.81	
制御棒の挿入性	1 以下	-	

*1 検討対象施設の固有周期における、「柏崎刈羽原子力発電所で観測された地震動による加速度 / 伊方発電所の基準地震動 S_2 による加速度」を示す。が1以下である場合、伊方発電所の基準地震動 S_2 による床応答スペクトルが、柏崎刈羽原子力発電所の床応答スペクトルを上回っているため、安全機能は維持されるものと考えられます。

*2 伊方発電所の基準地震動 S_2 における「許容値 / 応答値」を示す。が1を超える場合においても、であれば、伊方発電所の基準地震動 S_2 による床応答スペクトルに対する柏崎刈羽原子力発電所の床応答スペクトルの倍率に対して、対象施設の許容値に対する余裕が上回るため安全機能は維持されるものと考えられます。

伊方発電所第2, 3号機の主要施設についても、同様に安全機能が維持されることを確認しました。